

緑の相談所だより

No.87

発行 2004. 4. 1 編集 財団法人旭川市公園緑地協会 旭川市緑の相談所。

講習会のお知らせ

「春の園芸作業」

日時 平成16年4月11日(日)
午後1時半～3時半
講師 緑の相談所
相談員 佐藤 吉光
定員 50名



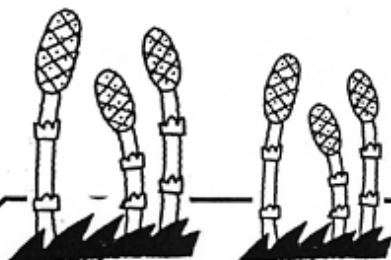
「庭木の選び方と植え方」

日時 平成16年4月25日(日)
午後1時半～3時半
講師 フラワーマスター
佐藤 文男
定員 50名



「山野草 春の植え替え」

日時 平成16年5月9日(日)
午後1時半～3時半
講師 北海道山草趣味の会
田中 哲三
定員 50名



「鉢花の植え替え」

日時 平成16年5月23日(日)
午後1時半～3時半
講師 緑の相談所
相談員 伊藤 征夫
定員 50名

お申込み・お問合せは
☎(0166)65-5553
緑の相談所まで。
どうぞ、お気軽に
お申込みください。

はなごとば。

3月に入るとTVなどで桜前線の話とともに、戸外に咲く色々な花々の便りが届けられます。しかし、ここ北海道の旭川はまだ雪の中で、残念ながらまだ戸外の花は見られません。

平成14年度に作成された北邦野草園の資料によりますと、野草園の中で最も早く咲く花は4月13日のフクジュソウとエゾエンゴサクとなっています。

今回はそんな雪融け早々咲き始めるポピュラーな花の中から2~3の花をご紹介しますと思います。

フクジュソウ (旭川の平年開花日 4月11日)

雪が融け始めた頃、小川の岸辺や谷間の斜面に緑の萼の中から黄色の花弁を覗かせるこの花は、冬の寒さに耐えてきた私たちに春の暖かさを、貴賓をみなぎらせながら伝えてくれます。

キンボウゲ科アドニス属の多年草で、属名のアドニスとはギリシャ神話の美の女神アフロディアが愛した美少年アドニスにちなんだものといわれています。

この花は、夏の暑さに弱く西日本では枯れてしまいます。ですから、庭に植える時は夏の強い日差しの当たらない涼しい場所に植えたいものです。

フクジュソウの花言葉 : 幸せを招く



サクラ (旭川の平年開花日 5月10日)

春になるとウメの次に全国的な話題にあがる花ですが、その代表的な品種がソメイヨシノです。ここ旭川近辺で多く見られるサクラの品種はエゾヤマザクラ(オオヤマザクラ)です。

サクラは自家受粉性が弱く他の株の花の方が結実がしやすいそうです。ですから、近くに別の種類のサクラがあると、交雑が起こり、その実生の木は雑種となります。サクラの名所の花などを注意深く見比べると色などが少しずつ異なったりするのはこのためなのかも知れません。このような中から時々、花色の濃さや、開花時期などの変わった形質のサクラが生まれることが有ります。最近、静岡県河津で従来のサクラの中からより早く咲くものが発見され、これがこの地方で最も早く咲くカワズサクラの名所となったことを、2004年3月1日のNHK「昼どき日本列島」で放送されていたのはこの例の一つといって良いでしょう。

サクラの花言葉 : 精神美 優れた美人



シラネアオイ (旭川の平年開花日 5月6日)

前述のサクラは日本の国花と云われますが、日本の国だけの原産が、純粹に日本の花であるとするならばその数はとても少なく、1種1属のシラネアオイはまごうことなく、日本の花といえます。本州中部から北海道にかけて、高山~亜高山帯の林の中に分布して自生しています。

色は清楚な藤色か白色の気品のある花で日光の白根山に多く見られることから「シラネアオイ」と名づけられたそうです。

シラネアオイの花言葉 : 優美 完全な美



「花を贈る辞典366日」「趣味の園芸昨年12月号:サクラ」より抜粋いたしました。



ハーブの育て方のポイント



I 種子の特性（好光性・嫌光性を知ろう。）

- 1 好光性種子 … タイム レモンバーム バジル etc.
- 2 嫌光性種子 … チャイブ ラベンダー etc.

II ハーブに適する土質を知ろう。

i 肥沃地を好むハーブ。

キャットミント サラダパーネット チャイブ ヘリオトロープ コーンサラダ
 サラダロケット ソレル ウスベニアオイ マスタード スープセロリ レモングラス
 ベルガモント ポットマリーゴールド etc.

ii 痩せ地を好むハーブ。

サントリーナ タンジー マレイン(観賞) etc.

iii 乾燥地を嫌うハーブ。

チャイブ チャービル ポリジ カモミール バジル レモングラス レモンバーム
 ミント(アップルミント パイナップルミント etc.)

iv やや乾燥地を好むハーブ。

ラベンダー アニス タイム マジョラム タラゴン ナスタチウム キャットニップ
 ローズマリー ベイ etc.

v 酸性土を嫌うハーブ。

タイム セイジ チャイブ ラベンダー オレガノ ヒソップ マジョラム ローズマリー
 センテットゼラニューム etc.

用土配合に注意しましょう。(配合例：赤玉土(小粒) 6 腐葉土 3 くん炭 1)
 に苦土石灰 用土1ℓに2g位入れましょう。

III 移植を嫌うハーブ。

直蒔きしたほうがよいハーブ … アニス キヤラウエ チャービル デイル
 マロウ(ウスベニアオイ) ナスタチュウム セルリー ベニバナ etc.

IV 夏の高温・多湿を嫌うハーブ。

タイム ラベンダー オレガノ セイジ サントリーナ チャービル カモミール etc.

(注) 雑草化しやすいハーブは、植える場所に気をつけましょう。



四月の園芸作業

☆ 草花・球根類

- ◆ 日常の管理⇒シクラメン、サクラソウ類は下旬ごろからベランダに出し、夜間凍らないよう防寒。
- ◆ たねまき⇒夏花壇用にアサガオ、アスター、マリゴールドなど上旬には鉢などにまきましよう。
- ◆ 花壇の整地⇒雪が消えたらなるべく早く土を耕して土を乾かし地温の上昇を促す。整地する時に堆肥、ピートモス、石灰などを加える。
- ◆ 株分けと移植⇒プリムラ類、ラベンダー、フロックスなどの宿根草などは2等分に株分けする。
- ◆ 球根の定植⇒カラー、グロキシニア、グロリオサなどは鉢植えする。

☆ 花木類（温室性）

- ◆ 日常の管理⇒アザレア、フクシャ、ハイビスカス、ブーゲンビレアなど生長に合わせ水やり回数を多くする。肥料は置肥と液肥を併用する。液肥は1000倍液で週一回、1500倍で週2回、回数が多いほど肥効が目立つ。

☆ 観葉植物

- ◆ 日常の管理⇒日中は暖かくても夜間は温度が下がるので最低温度に注意して管理を行う。朝10度前後まで下がると水やりはしない。
- ◆ 病害虫の防除⇒ハダニの防除は葉の裏をよく水洗いする。カイガラムシも水に10～20分つけておけば防除できる。

☆ 多肉植物・サボテン類

- ◆ 日常の管理⇒日当たりのよい窓辺において水やり回数も増やし、肥料も回数多く与える。
- ◆ クジャクサボテン⇒花が終わった株、これから咲く株も水と肥料を十分与える。茎の上部から伸び始めた新芽は摘み取る。
- ◆ シャコバサボテン⇒親株、さし木から育てている苗にも置肥を行う。液肥は1500倍を週1回。
- ◆ カランコエ⇒花が終わった株は5～6cmの長さに切ってさし木する。
- ◆ クラッスラ⇒通称、金の成る木は、日当たりのよい場所で水やり、1000～1500倍の液肥を週1回与える。



五月の園芸作業

☆ 草花・球根類

- ◆ 日常の管理⇒戸外においてある場合は温度変化が大きい時期のため、霜や低温に気をつける。
- ◆ たねまきは、室内で箱まきして苗づくりする。
- ◆ クレマチスの剪定は一季咲きの品種は枯れた枝、細い枝を切る程度にし、四季咲き性の品種は伸び過ぎた茎2分の1か3分の1に切り詰める。
- ◆ 球根類の定植⇒グラジオラス、ダリア、リアトリスなどは花壇やプランターに植える。
- ◆ 室内にあったアマリリス、ロドヒポキンスなど花が終わったものや咲かないものも日当たりのよい場所で育てる。

☆ 花木類（温室性）

- ◆ 日常の管理⇒水やりは朝8～9時頃たっぷり与え、夕方は徒長するのでさける。
- ◆ ハイビスカス、フクシャなどは液肥の回数を増やす
- ◆ ベラルゴニューム、フクシャ、エニシダなどは戸外に出す。出す場合は曇りの日か雨天など湿度の高い日を選んで出す。外気に慣れるまでは水は少なめ、肥料は中止し日陰に置く。

☆ 観葉植物

- ◆ 日常の管理⇒四月と同様に夜間は温度が下がるので最低温度に注意して管理しましょう。
- ◆ バイナップルの冠芽を挿し木する。果実の上部の冠芽を果肉をつけないよう基部で切離し、外側の葉を5～6枚むきとるようにはがし、3～4号鉢で火山れきや砂にさす。

- ◆ ホンコンカボック（シェフレア）は根づまりがひどくなると花がつく。水と肥料は十分与える。

☆ 多肉植物・サボテン類

- ◆ クジャクサボテン、シャコバサボテン、アロエ、クラッスラなどは戸外の日当たりのよい場所で水やりや肥料を与える。（急に外に出さず慣らしてから）
- ◆ 親株でとげを楽しむ強刺類は下旬ごろ外に出し外気に慣らす。雨よけできる風とおしの場所で管理する水やりと肥料は草花並みに与える。
- ◆ つぎ木で育てている種類は室内、温室で管理する。

